

ミツカンが営業現場における生成AI活用・探求の部活動をスタート ～部員の応募は想定の5倍！ボトムアップで企画立案し、“楽しく”が合言葉「わくわくAI探検隊」～



上記コンテンツの一部は生成AIで作成しており、当社で編集を加えています。

株式会社 Mizkan(本社:愛知県半田市、代表取締役社長兼 CEO:吉永 智征、以下ミツカン)では、2025年9月より営業本部において、生成AIを学ぶ社内コミュニティ「わくわくAI探検隊」を始動しました。営業本部の社員自らが募集・企画立案・運営までを手掛けるボトムアップの取り組みで、「楽しく・気軽に・ともに学ぶ」をモットーに活動しています。社員が主体となって生成AIを探求し、座学とワークショップを繰り返しながら、業務で生成AIを活用する具体的な方法やヒントを学んでいます。

取組概要

「わくわくAI探検隊」は、業務効率化や生産性の向上を目標として、営業本部の社員を対象とした、生成AIを“楽しく”学ぶ社内コミュニティです。

活動はオンライン中心で、「誰でも」「どこからでも」「スキル関係なく」参加することができます。

業務における生成AIの活用スキルを身につけることを目的に、ともに学び合っています。

<特徴>

- 全国の営業本部社員が対象(年齢や経験を問わず、手挙げ式で入部可能)
- 営業本部とデジタル推進部の社員による自主企画・運営
- 営業現場での活用を意識した内容設計
- 業務時間内の活動

<主な活動内容>

- 勉強会・ワークショップ・社外との交流
- Teams 上での情報共有(活用事例や相談など)

立ち上げ背景

営業本部では、2024 年度からモデル支店を決めて、支店単位で生成 AI 活用の取組を進めてきました。その中で、「興味を持った人が楽しく学び、自発的に活用して、周りに広げていくこと」が本部全体での活用速度をあげる鍵だという気づきがあり、2025 年度は”部活動”というかたちで全国の営業社員を巻き込み、新たに取り組むことになりました。

《生成 AI の活用・探求は、1 人だと続けるのが大変。でも部活のように仲間と一緒にすれば楽しく続けられる。》そんな想いを込めて生まれたのが「わくわく AI 探検隊」です。

営業本部の社員からボトムアップで企画立案し、部員を手挙げ式で募集したところ、営業本部内の 8 割を超える支店・部署から応募があり、最終的な部員数は当初の想定の 5 倍以上の約 70 名となりました。

当初は、「生成 AI 部」という名称で活動を開始しましたが、自身の活動やチームに愛着を持ってもらうため、生成 AI を活用してチーム名を決めるコンテストを実施し、50 件を超えるアイデアの中から誕生した部活名が、「わくわく AI 探検隊」です。

若手からベテランまで、生成 AI 初心者のメンバーも多くいますが、業務効率化と生産性向上を目標に、ともに、わくわくしながら日々の活動に取り組んでいます。

活動内容

1) 基本の”キ”から、みんなで楽しく学ぶ「仮入部期間」 2025 年 7 月～8 月

活動のスタートは、生成 AI の基本を体験しながら学ぶ“仮入部期間”から！

①文章生成や画像生成を活用し、「支店対抗！ロゴ作成企画」といった身近なテーマでワークショップを実施し、AI の仕組みやコツ、ツールの使い方を体感しながら、最初の一歩を踏み出しました。

②「わくわく AI 探検隊」の公式キャラクターを決めるコンテストを開催

メンバーが生成 AI を活用してデザイン案を作成し、投票でキャラクターを決定しました。

自分たちで試行錯誤しながら「部活の顔」を生み出すプロセスが、生成 AI の可能性を感じるきっかけとなりました。

<「わくわく AI 探検隊」公式キャラクター>



2)全国の仲間とアイデアを出しながら学ぶ「秋期講習」 2025年9月~

9月からの本入部以降、全国の部員が一堂に会する「秋期講習」をリアルとオンラインのハイブリッドで実施！半日かけて座学からワークショップまで行うプログラムでは、仮入部期間で学んだ内容を発展させ、実践的な内容にチャレンジしました。

特に盛り上がったのは、「ひなまつりレシピバトルロワイアル」と題したアイデアセッションです。全国の仲間がリアルに繋がり、生成AIを駆使して新しい販促企画を次々と提案しました。作成したアウトプットは、関連部署と連携しながら確認し、店頭で販促物として使用できるよう進めています。

学びと交流を通じて、新たなヒントや気づきを得ることができ、生成AIを“自分の業務でどのように活かせるか”を具体的に考えるきっかけとなりました。

<「ひなまつりレシピバトルロワイアル」のアウトプット案(抜粋)>



上記コンテンツは ChatGPT で作成

<上記のアウトプット案を基に試作・試食し提案メニューを検討>



<秋期講習の集合写真(リアルの参加者)>



参加メンバーの想い／入部して変わったこと

メンバー
の想い



名古屋支店
山本 真生

今回の意気込みとして、部活動を通して生成AIを使いこなし、業務の効率を向上させたいと思います。また、入部して課のデジタル担当にも任命されたので、課のデジタル促進も目指します。わくわくAI探検隊に参加したこと、画像生成などを一度、自分でやってみよう。という気持ちになり、自分自身のスキル向上にも繋がったと感じています。

メンバー
の想い



営業企画部
中村 彩乃

『業務効率化のためにAIを活用したい』という漠然とした想いを持って臨みました。当初は思い通りの回答がなくもどかしかったですが、AIへ渡す情報に何が足りていないのかメンバーからアドバイスをもらい、参加する度に精度の高い回答を得られるようになりました。AIチームに参加することで業務効率化を図れただけでなく、普段のコミュニケーションの中でも伝え方を意識するようになりました。

メンバー
の想い



東日本業務用営業部
竹下 伸吾

2年ほど前から副業でやっていたコーピーライティングの仕事が目に見えて減ってきました。調べてみると犯人は生成AIという凄いヤツ。これはもう「仲良くなるしか道はない」とわくわくAI探検隊に入部を志願しました。本格的に生成AIに触れて感じているのは「AI×人間」の大きな可能性です。「AIが人間の仕事を奪う」のではなく「AI×人間」が今よりも高次元の仕事を生み出していくのではとわくわくしています。

上記コンテンツの一部を ChatGPT で作成

株式会社 Mizkan 取締役 営業本部長 鈴木 豆のコメント

AIについては今後のビジネスにおいて避けては通れないものになりつつあります。

しかしながら、差が出るのは AI を使うかどうかではなく、「どう使いこなすか」だと考えます。

決まった形がないからこそ、1人1人の発想力が大事になってきます。既存の考えにとらわれることなく、柔軟な発想で活用方法を考えて、想像もしないようなアイデアが出ることを期待しています。